

学区の地域基礎調査

三 上 学 区

1. 学区の特徴

地形

- ・ 三上山を中心とした、野洲川扇状地・三角州で、稲作が中心。

人口分布

約5200人で野洲市全体の1/10の規模。高齢化が進行中で現在5人に一人が65歳以上。今後も高齢者の割合が増加。昭和40年代より団地が増え団地に住んでいる人の構成比が60%を超えた。また若い世代は親との同居をしなくなり、結婚と同時に外に出て行く傾向があり子どもの数が減少したまま、少ない状況が続いている。

交通

JR野洲駅からみかみまでは近いところで1KM、遠いところで9KM。

交通手段としては、路線バス、自家用車、バイク、自転車、徒歩となる。

今後高齢化が進むと公共交通の確保が重要になる。

商業関係の特徴

地元にはスーパー、生鮮魚店はなく、小売はコンビニ店（ローソン・ファミリーマート・・・）が中心。小売店そのものも少ない。

国道沿いに娯楽施設、飲食店が集中、それ以外のところは農地と住居地である。

地産地消としては、地元の朝市があり、月2回、毎週1回開催等されている。

観光関係

歴史・人物とイベント

- ・ **三上山** 近江富士と呼ばれている。新幹線から良く見え、近隣各地から登山に訪れる人が多い。元旦には三上山初登山大会のイベントがあり、近年参加者が増えてきている。

また、この山を7巻半した「大ムカデ」を武将「倭藤太」が弓矢で退治したという伝説が残っており

「ムカデ山」の別名もあります。

- ・ **御神神社**（本殿は鎌倉時代建築の国宝）があり、重要文化財に指定されています。

- ・ **ずいき祭り** 五穀豊穰を感謝して行われる秋祭り。

ずいき（里芋の茎）等で、5基の神輿を作り、御上神社に奉納。400年以上続き、平成17年2月に国の無形民俗文化財に指定。

- ・ **お田植え祭り** 昭和3年の天皇大嘗祭に際して、これに供える米を作る田（悠紀齋田）に野洲市が選ばれたことを記念して始まったまつりです。悠紀齋田として保存されている所は、現在は野洲市三上だけと思われる。

- ・ **大津事件** 明治24年(1891年)5月11日、日本を訪問中のロシア皇太子ニコライが、滋賀県大津市で警備の巡查・津田三蔵に突然斬りかかりました。当時津田三蔵は三上駐在所の巡查で、日本中を震撼させた大事件の張本人であった。

- ・ **近江富士花緑公園** 三上山の麓に広がる公園で、



ハイキングコースや芝生広場、植物園、レストラン、宿泊施設など自然と
触れ合える施設がたくさんある。

・ **希望が丘文化公園** 3市にまたがる416ha
の公園で、スポーツゾーン、野外活動ゾーン、文
化ゾーンに分かれ、県内外からたくさんの来訪者
がある。



学区で自慢できる事

- ・ 歴史的な重要文化財(無形・有形)に恵まれている。またその伝統文化財がキ
ッチリ継承されている。
- ・ 三上山（別名近江富士）という近くを通ればだれでもその存在に気がつき、
琵琶湖東岸のランドマークになっている。
- ・ 都市部から近いところですが、身近なところに自然が豊かに残されている。

学区のウイークポイント

- ・ 人口が増えない。若い人が地元から出てゆく。子どもの数が少ない。
- ・ 公共交通がお粗末（高齢者にとっては交通手段が制限され買い物が不便）
- ・ 小売店が少ない、大規模店がない為、品揃えが悪い

2. 地元商品取扱店の調査

北桜直売所 自治会館横ガレージ前で販売

(北桜生産者有志) 毎週日曜日朝7:30~10:00頃

地域で採れる野菜の販売



南桜直売所 南桜農業組合倉庫前で販売

(南桜生産者有志) 第2・第4日曜日 朝7:00~10:00

地域で採れる野菜・加工品の販売



山の駅 三上山登山道

(地元生産者) 毎週土・日 9:00~17:00頃

地元で取れる野菜、加工品の販売



桜橋会館内販売 近江富士団地

(地元生産者、スマイル販売所出張販売) 毎週火 9:30~

地元で取れる野菜、加工品の販売



3. 地元商品を販売するイベント

悠紀祭り（コミセンみかみ 秋季イベント）

日頃コミセンみかみで活動している団体の発表会 および
地域（三上学区全体）で採れる農産物の販売・加工品の販売
提携地域からの出店（夜須町からの海産物など）

主催 悠紀祭り実行委員会

参加者 学区農業組合、自治連合会、コミセンみかみ

場所 コミセン駐車場で開催

開催日 11月第3日曜日 10:00～15:00

来客数 2000人



4. 地域に伝わる伝統料理やもの、伝統芸能など

- ・ いもつぶし
- ・ たでずし
- ・ ずいき祭り
- ・ お田植えまつり



5. 協議会への提案

来客者側から見た問題点について。

- ・ 開始時間にいっても、すぐに売切れている（開始時間前に販売が始っている）
- ・ 農産物だけを購入するのではなく、それ以外のものも購入したいが他に回らなければならない。（一箇所では必要なものが揃わない）
- ・ 開催場所が狭い

供給者側から見た問題点について

- ・ 広い場所が準備できない
 - ・ 現在は全然採算ベースになっていない。商売として成立つようにするには工夫（農産物以外・加工品等も販売）が必要
 - ・ 高齢者が家庭で作った野菜など余った分を持っていっているが、遠い所までは持っていくのは無理。
 - ・ 季節にもよるが、露地栽培の野菜のため偏った品揃えになる。
 - ・ 野菜の出来ない季節は売るものが少ない。
- など 意見がでた。